



国際交流員ダンコー・アンドレアさんの

HAJRÁ KAZUNO!

※「ハイラー」はハンガリー語で「頑張れ」の意味

食欲の秋

ハンガリーの主食

ハンガリー人はご飯よりジャガイモや麺類をたくさん食べますが、一番食べる機会が多いのは、やはりパンです。魚や肉、野菜料理などさまざまな料理と一緒にパンを食べます。軽く食べたいときは、サンドウィッチやハンバーガーを食べます。しかし、日本に来てからフルーツサンドや焼きそばパンを初めて知り、とても驚きました。

ハンガリーの麦畑は黄金色でもきれいですが、鹿角でも同じような景色を目にしました。それは、10月に八幡平の紅葉が見ごろを迎え、地元中学生がボランティアでガイドを行っていた時です。八幡平の大沼までの道中には、田んぼの景色が広がり、それはまるでハンガリーの麦畑のようでした。ハンガリーの紅葉は、赤色が少なめですが、八幡平の紅葉は鮮やかに赤く染まっていて、とても印象的でした。

ハンガリーで秋と言えば、家族で森を散策し、キノコを採った



り、紅葉した落ち葉を集めたりします。ハンガリーの森は熊の心配がないので鈴をつける必要がありません。静かに森を散策していると、リスや鹿に会うこともあります。散策した後は、キャンプ場でキャンプファイヤーをしてハンガリー風バーベキューを楽しみます。秋の果物は、鹿角と同じように桃やりんごもありますが、プルーンや洋梨、ブドウも多く収穫されます。ブドウはそのまま食べてもいいですが、チーズやクルミと一緒にワインのお供にもなります。やっぱり「食欲の秋」はいいですね。

フェイスブック公開中。「鹿角C I Rダンコー・アンドレア」で検索してください。



男女共同参画基礎講座

◆日時 11月12日(日) 14時～15時30分
◆場所 花輪市民センター 講堂 (コモッセ内)
◆講師 高谷 秀和氏 (株式会社タカヤ 代表取締役社長)

女性の活躍推進やワーク・ライフ・バランスの推進を目的として、男女共同参画基礎講座を開催します。また、そのなかでワーク・ライフ・バランス優良企業を表彰します。

ワーク・ライフ・バランス優良企業表彰では、男女が共に働きやすく、仕事と生活の調和がとれる職場づくりに積極的に取り組んでいる企業を表彰します。仕事や生活を充実させるための方法や考え方などを知ることができる貴重な機会です。どなたでも参加できますので、ぜひお越しください。

問 市民共動課 ☎ 30・0202

世界遺産登録に向けて

問 大湯ストーンサークル館 ☎ 37-3822

世界遺産

大湯環状列石

世界遺産登録に向けた取り組み

世界遺産をめぐる諸問題①

世界遺産を守っていくためには、多くの人が世界遺産の仕組みや問題について知り、解決に向けて取り組んでいかなければなりません。今回は世界遺産をめぐる諸問題について紹介します。

危機にさらされている世界遺産リスト

毎年新たな世界遺産が登録される一方で、気候変動や人為災害により危機にひんしている世界遺産が存在します。地震や火災、風水害、戦争、乱開発、密漁、外来種の侵入などで緊急の保護救済が求められる遺産は「危機にさらされている世界遺産リスト（危機遺産リスト）」に登録されます。2019年の時点で危機遺産リストに掲載されている遺産は53件で、世界遺産委員会によって登録理由となった要素が失われたと判断された場合は抹消されることもあり、登録された後の保全も重要です。

順位	国名	件数
1位	イタリア	55件
1位	中国	55件
3位	スペイン	48件
4位	ドイツ	46件
5位	フランス	45件
6位	インド	38件
7位	メキシコ	34件
8位	イギリス	32件
9位	ロシア	29件
10位	アメリカ	24件
10位	イラン	24件
12位	日本	23件

←世界遺産登録件数国別ランキング (2019)

登録数の増加と地域格差 世界遺産の登録件数は、欧米諸国が全体の4割以上を占めていますが、一方でアフリカ諸国は全体の1割以下となっており、登録数に地域格差があります。これは、世界遺産制度が始まった当初にヨーロッパに存在する遺産が世界遺産登録を果たしたことや、ヨーロッパ地域の石の文化に対し、アフリカ地域は土の文化で、建造物が残りにくいことも要因となっています。こうした格差を減らすために、1年間に登録できる遺産の件数を制限したり、世界遺産非保有国の推薦を奨励したりするなどの取り組みが行われています。近年、日本からの推薦が毎年1件なのもそのためです。



ECO & LIFE

問 市民共動課 環境生活班 ☎ 30-0224

ECO

快適な暮らしの情報

油漏れに「注意」ください！

灯油の流出事故を防ぐために

油の流出は、火災発生の危険性のもとより、周囲への臭気や土壌汚染のほか、河川に流出した場合、水質の汚濁による水道水の断水などの事態に発展する可能性があります。また、流出への対応に掛かる費用は流出原因者に費用負担が求められます。

油の流出事故を防ぐために次の点に注意しましょう。

暖房機器の点検をしましょう

毎年、暖房機器の使用を始める時期に、暖房機器やホームタンクの故障などによる油の流出事故が起きています。本格的な寒さを迎える前に、暖房機器の点検をして備えましょう。

点検は定期的に

灯油の残量は常に注意しましょう。灯油の減りが異常に早いときなどは、油の流出が疑われます。給油口が壊れていたり、タンクや

配管がひび割れていたりしないか、定期的な点検を心がけて油の流出を防ぎましょう。

目を離さないようにしましょう

ホームタンクなどから油を小分けにする際は、その場を離れたり、目を離したりしないように注意しましょう。また、タンクのバルブはしっかり閉め、給油口からの漏れを防ぎましょう。

雪から守りましょう

屋根からの落雪や除雪の際に、ホームタンクの給油口などが破損したり、給油ホースが外れたりする可能性があります。雪囲いや目印を付けるなどして、タンクや配管を守りましょう。

